

## 永国寺キャンパスのインフラ整備状況

令和4年3月17日現在

インフラ項目	詳細	内容
上下水道	上水道	教育研究棟受水槽(36トン)の残存分が使用可能だが、浸水状況によってはすぐに使用することができない。 地域連携棟受水槽(6トン)の残存量が使用可能だが、1階にあり、浸水時には使用不可。
	雑用水	災害用井戸 1本(状況により枯れる場合あり)
	飲料水(ペットボトル)	飲料水909箱(500ml・24本入り) 約1300人3日分(法人、工科大学学生及び教職員分含む)
電気	太陽光発電、非常用発電機	教育研究棟階段誘導灯、3階本部エリアの非常用照明及びコンセント
通信	内線・外線電話	停電後、学内の交換機内付属のUPSで約2時間(UPSの状態による)利用可能、ただし、回線の断線等の場合は使用不可
	インターネット	池および永国寺、それぞれ独立してインターネットに接続
	トランシーバー・無線	トランシーバー(四括K第302号)永国寺用10台 CH1:通常通信 CH2:緊急通信 ※通信状況に応じて、周波数を変える。 MCA無線1台(各キャンパス1台)
施設設備	建物の構造	全棟耐震 教育研究棟・図書館・体育館に電盤感震ブレーカー設置
	エレベーター	P波感知自動停止、復旧は業者
備蓄	食料	アルファ化米11,000食 約1300名3日分(法人、工科大学学生及び教職員分含む)
	生活物資	アルミブランケット1,190枚、袋式トイレ2600回分、軍手456組、ランタン5個、非常用LEDライト10個、アルミホイル1箱(20個)、サランラップ1箱(30個)、女性用品1箱、紙皿(プレート1200個、ポウル600個)、紙コップ1箱(1200個)、割り箸(1200本)
	医療資機材	感染対策用品等